

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042-769-8344
担当部課名	保健所	地域保健	課	成人保健企画
事務事業名	保健所一般健康相談経費		事業コード	12220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	12年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市保健所一般健康相談実施要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的 地域住民の疾病の予防・早期発見、健康の保持増進等を図ること	(2) 対象(誰、何) 本市に在住、在勤、在学者(労働安全衛生規則に定める定期健診を除く) 対象数 約3,000人																								
(3) 平成13年度事業の内容 <ul style="list-style-type: none"> 実施回数 49回 受診者数 2,587人 利用目的 <table border="1"> <tr> <td>健康相談</td> <td>341</td> <td>進学用</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>就職用</td> <td>660</td> <td>免許申請用</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>施設入所用</td> <td>43</td> <td>雇用時</td> <td>883</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>319</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 歳出 <table border="1"> <tr> <td>医師会委託費</td> <td>4,807千円</td> </tr> <tr> <td>医師報酬</td> <td>1,533千円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>2,961千円</td> </tr> </table> 歳入 <table border="1"> <tr> <td>一般健康相談等手数料</td> <td>12,152千円</td> </tr> </table> 	健康相談	341	進学用	270	就職用	660	免許申請用	71	施設入所用	43	雇用時	883	その他	319			医師会委託費	4,807千円	医師報酬	1,533千円	その他経費	2,961千円	一般健康相談等手数料	12,152千円	(4) 総合計画・実施計画における概要 なし
健康相談	341	進学用	270																						
就職用	660	免許申請用	71																						
施設入所用	43	雇用時	883																						
その他	319																								
医師会委託費	4,807千円																								
医師報酬	1,533千円																								
その他経費	2,961千円																								
一般健康相談等手数料	12,152千円																								
	(5) 個別計画の概要 計画名 相模原市保健医療計画 計画年次 12年度～年度 働き盛りの健康づくり対策として、一般健康相談を実施する。																								

4 評価指標

指標名	健康相談目的で受診した人の割合	定員に対する受診者の割合
指標式	健康相談目的人数/全受診人数×100	年間受診者数/年間定員×100
指標設定の意図	事業目的達成のためには、基本健康診査や職場健診対象外の人の健診(健康相談がそれにあたる)受診を促進していくことが重要である	市民における本事業の需要

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標		11	a 14	b 27	27	
指標		85	c 83	d 100	100	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	7,032	9,303	10,325	9,834	
	人員・時間数	2896 H	2896 H	2896 H	2896 H	
	人件費	12,106	10,446	10,446	10,446	
	その他経費					
	合計	0	19,138	19,749	20,771	20,280
特定財源		0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 67.4%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{14.0}{27.0} \times 100 = 51.9\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{83.0}{100.0} \times 100 = 83.0\%$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$
理由 :	基本健康診査、職場健診等、定期的な健診機会がない人が、健康相談目的で受診した割合が低い。進学、就職、免許申請、雇用時等診断書作成のための利用が大半を占めているが、市民の需要は高い。		
(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	若い頃からの健康づくりが必要といわれる時代であるが、日頃健診機会のない市民(特に40歳未満)が低価格で健診を受けられる場としては、時代にあった内容といえる。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		
(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 :	検査目的が多岐にわたるため、受付、問診等の事務量がかかる。実施方法等について検討が必要。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		
(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 C ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	進学、就職、免許申請、雇用時等、診断書作成目的の健診については、民間の医療機関でも実施が進んでおり、代替が可能である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		
(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	特に、日頃健診機会のない受診者より、好評である。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		
(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	日頃健診機会のない市民の受診を促すことで、より有効となる。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 日頃健診を受ける機会のない市民がより、受けやすいよう、実施方法等の見直しを行うことで、より成果のある事業となる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明 :</p> 民間に受け皿のある内容については廃止する等、対象者の見直しを行うことで、コストの改善が可能。

7 総合評価

評価 B ▼	他自治体の類似事業との比較	東京都 平成11年12月をもって廃止
		横浜市 効率的な実施に向けて検討中
今後の進め方		川崎市 効率的な実施に向けて検討中
<input type="checkbox"/>	継続	横須賀市 平成12年12月をもって廃止
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	<p>説明</p> 実施方法、対象者の見直し等行い、より効率的かつ目的にあった事業にしていく必要がある。 受益者負担については、現行どおり診療報酬点数等に基づき適正に求めていく。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--